

高齢患者様の吸入手技習得と認知機能に関する研究

< オプトアウトのご説明 >

この研究は、患者様の診療記録や検査データを用いて、高齢患者様における吸入薬の使用方法（吸入手技）と認知機能との関連性を調査するものです。患者様への直接的な介入は行わず、通常の診療に支障をきたすことはありません。すべての情報は匿名化して分析します。

(1) 研究の目的と意義

慢性閉塞性肺疾患（COPD）や喘息の治療では、吸入薬を正しく使用することが治療効果や生活の質に大きく影響します。しかし、高齢患者様では認知機能の低下が吸入手技の習得に影響する可能性があります。この研究では、認知機能、身体機能および使用デバイスの種類と吸入手技習得との関連性を明らかにし、より安全で効果的な吸入療法につなげることを目的としています。

(2) 対象者

2018 年 1 月以降に当院に入院し、吸入薬による治療を受けた 65 歳以上の患者様です。認知機能の評価が医学的に困難と判断された方、診療記録が不完全な方、研究への利用を希望されない方は対象外とします。

(3) 研究期間

この研究の実施期間は、倫理申請承認後から 2027 年 3 月 31 日までです。

(4) 収集する情報

この研究で収集する情報は、主に吸入手技の習得状況、認知機能の評価に関するデータです。具体的には、疾患名、年齢、性別、使用デバイス、吸入手技の評価、ミニメンタルステート検査（MMSE）や前頭葉機能検査（FAB）などの認知機能検査の結果を含みます。研究の目的に応じて、これらに関連する追加の診療情報を収集することがあります。

(5) 情報の取り扱い

この研究で使用する情報は、氏名や生年月日など個人が特定できる情報を除き、匿名化したうえで分析します。共同研究機関（北海道科学大学）には、個人を特定できない状態でのみデータを提供します。

(6) 研究への参加の拒否（オプトアウト）

この研究への参加を希望されない場合は、下記窓口までご連絡ください。ご連絡いただいた場合、今後のデータ収集の対象から除外されます。すでに匿名化された情報は取り下げることができませんので、ご了承ください。

(7) お問い合わせ窓口

研究責任者：北海道科学大学薬学部 講師 水谷 怜子

病 院 窓 口：恵和会西岡病院 薬局長 横山 敏紀 TEL: 011-853-8322（代表）